（別紙５）

公表　事業所における自己評価結果

事業所名	児童デイサービス88

公表日　令和7年3月31日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5		パーテーションで支援室、訓練室を区分けし、利用人数に応じたスペースを確保している。	スペースを区切る事でスタッフも分散してしまう。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	4	1	利用者人数や支援内容に応じて、人員基準に比べ、余裕を持った配置をしている。	今後も余裕をもって支援して参ります。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5		施設への入り口がスロープになっているので、車いすでも入室可能。	入り口のスロープ以外はバリアフリーになっていない為、支援スペースも検討が必要。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5		午前中やサービス提供時間終了後に、施設内の清掃業務や支援で使用した物のアルコール消毒を毎日実施している。	おもちゃの消毒・換気等、感染症対策に今後も力を入れて参ります。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4	1	勉強スペースやクールダウンのスペースはパーテーションで区分けしている。	パーテーションで支援スペースと勉強スペースを視覚的に分けているが、同じ空間の為、個別の空間をどう作っていくかが課題となる。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4	1	毎朝の朝礼時や月例のミーティング時に全職員で業務においての話し合いを実施している。	今後も月1回の社内会議、月例会議、毎日の朝礼ミーティング等で 業務改善のPDCA サイクルを実施して参ります。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		保護者様からのコメントは少なかったが、頂いたコメントに対して改善すべき事案は早急に話し合い改善をしている。	今後も継続して参ります。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	1	担当者が個別に面談を行い、日々の業務における改善点を聞き取り、改善している。	今後も継続して参ります。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		5	今のところ実施予定はないが、今回の自己評価を基に改善すべきものは改善している。	今のところ実施予定はないが、今回の自己評価を基に改善すべきものは改善を行って参ります。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5		新入社員への研修や各種業務における研修を実施している。外部講師を招いての研修も実施している。	今後も定期的に社内、社外の研修を職員のスキルアップを目指して参ります。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5		支援プログラムを作成し公表している。	今後も適切なプログラムの作成、公表を継続して参ります。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5		送迎時や定期的に保護者様と面談を実施し、支援計画の作成している。	今以上に保護者様との情報共有を目指して参ります。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5		全職員で支援会議を行い、支援計画の作成に努めている。	全職員が積極的に意見を述べられるように全職員のスキルアップに努めて参ります。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか 。	5		児発管が作成した個別支援計画書は職員間に共有している。	職員間だけではなく学校や関係機関に共有し支援を行って参ります。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5		終礼議事録にその日の出来事を記録し可視化している。	引き続き全職員で利用者の様子を共有し、全職員のスキルアップに努めて参ります。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5		相談員、保護者様と連携を取りながら児童発達支援管理責任者が個別支援計画書を作成し、それを基にお子様にあった活動内容を話し合い支援内容を設定している。	利用者の状況に応じて短い期間でも計画の変更を出来るように努めて参ります。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	1	職員間でミーティングを行い、活動プログラムの立案を実施している。	引き続き全職員でプログラムについて話し合い、プログラム内容の向上に努めて参ります。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4	1	メインプログラムは設定されているが、その他の活動においては職員間でアイデアを出し合い、固定化しないようにしている。	引き続き全職員でプログラムについて話し合い、プログラム内容が固定化しないように努めて参ります。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	4	1	個別や集団での活動を組み合わせて、利用者に合わせて計画の作成、支援をしている。	集団活動が苦手な子どもたちへの配慮にも努めて参ります。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5		朝礼時に職員間で打ち合わせを行い、役割分担をし支援をしている。	引き続き職員間で話し合い、連携強化に努めて参ります。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い､気付いた点等を共有しているか。	5		送迎の関係で当日中の振り返りが難しい場合は翌朝の朝礼時に時間を取り、情報共有を実施している。	支援終了後に口頭での伝え忘れが無いように社内LINEなどで共有して参ります。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5		日々支援記録や業務記録を作成し、必要に応じて改善をしている。	記録ミス、抜けが無いように努めて参ります。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5		定期的なモニタリング、個別支援計画の見直しは実施している。	保育園や学校等、関係機関との連携を図っていけるよう努めて参ります。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「４つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	5		地域交流の機会の提供が不十分であると考えている。	地域交流の機会の検討の支援を充実できるよう検討して参ります。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	4	1	遊びを選択する支援等を行って自己決定の力を育んでいる。	今後も継続して参ります。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5		担当者会議には管理者もしくは児発管が参画している。	今後も継続して参ります。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5		相談員、保護者様を含めて障害福祉、保育とも連携して支援する体制を整備している。	相談支援専門員や利用者が併用している事業所間の連携は行っているが、今後は園や学校などとの連携強化も図って参ります。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5		保護者様より学校や園の行事予定の情報共有を受けている。送迎時の対応やトラブル発生時には迅速に対応できている。	今後も継続して参ります。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4	1	就学に向けて移行していく児童に対して、相談支援事業所を交えて情報共有を実施している。	今後も関係機関と相互理解を深めていけるよう努めて参ります。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	3	2	現状、放課後等デイサービスから障害福祉サービスへの移行するケースがない為、今後は対象がいる場合は情報提供を実施していく。	定期的な情報共有の場を設けていけるよう努めて参ります。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか 。	3	2	現状では機会がないが、連携を図れるよう努力をしていく。	交流の場を設け、連携体制を構築していけるよう努めて参ります。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		5	現在は出来ていないが、交流の場を設ける検討していく。	地域のイベント等に参加し、交流・活動する機会を設けていけるよう努めて参ります。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	4	1	現在はあまり参加できていない為、検討していく。	今後は積極的に参加できるよう努めて参ります。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5		日頃から共通理解を深めていけるよう、情報共有を実施している。	家庭連携や送迎時などで共有して支援に繋げて参ります。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント･トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	2	必要に応じて家庭支援を実施している。	家族が参加出来る研修の機会を設けていけるよう努めて参ります。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5		契約時に説明を実施している。	今後も丁寧な説明を行って参ります。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5		作成前にヒアリングを行いこどもや保護者の意思の尊重、優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けている。	今後も継続して参ります。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか 。	5		支援計画作成後に児発管が直接説明を行い、同意を得ている。	今後も丁寧な支援内容の説明を、継続して参ります。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5		送迎時などに家族支援を実施している。	定期的な懇談会の機会を設けていけるよう努めて参ります。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		5	今後の要望の声が多ければ検討していく。	現状、兄弟での利用者が多く、兄弟同士の交流は出来ているが、保護者同士の交流は行えていない為、今後は検討して参ります。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5		保護者様からの相談や申し入れについては、すぐに体制を整備し、必要に応じて迅速に対応している。	今後も職員間の協議体制を維持し、迅速に対応して参ります。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5		施設での活動をSNS等を活用し発信している。	今後もSNS等を活用し、定期的に情報や支援内容を発信して参ります。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5		鍵付きの書庫で個人情報の保管をしている。	今後も継続して参ります。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5		情報伝達には十分に配慮している。	今後も継続して参ります。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	3	今後の要望の声が多ければ検討していく。	地域に開かれた事業運営を図るための検討して参ります。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	1	感染症対応等の研修と訓練を定期的に実施している。	今後も定期的な研修や訓練の実施を継続して参ります。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4	1	BCPの策定、研修と訓練も定期的に実施している。	今後も定期的な研修や訓練の実施を継続して参ります。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5		契約時や毎年、情報シートを保護者様に記入いただき、共有を受けている。	今後も継続して参ります。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5		契約時に確認をしている。	医師の指示書がある場合は、指示書に基づいて対応して参ります。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5		安全計画の策定や研修、訓練を行い、支援している。	今後も継続して安全管理を行って参ります。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。	5		契約時にお伝えしている。	今後も継続して参ります。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5		日々のミーティングでヒヤリハット事項があれば共有し、再発防止の話し合いを実施している。	今後も継続して参ります。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5		委員会や研修の実施と毎月、職員にアンケートの実施をしている。	今後も継続して虐待防止に努めて参ります。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5		保護者様に同意を得て、実施できる体制は整えている。	今後も継続して参ります。